

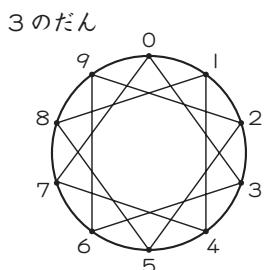
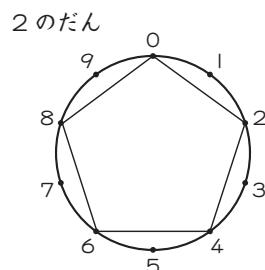
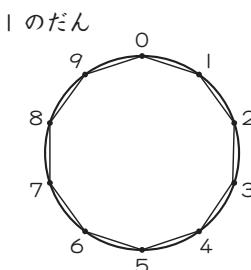
なまえ

ねらい 九九の答えの一の位の数字の規則性に気付き、九九のきまりについて関心を高める。

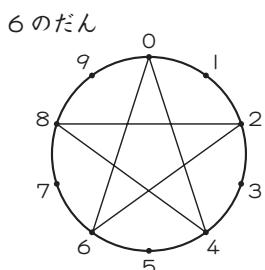
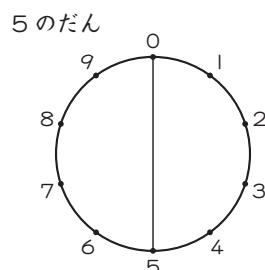
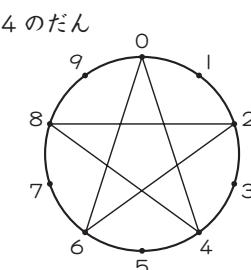
I 九九の答えの一の位の数字を、直線でじゅんにむすびました。

① 答えの一の位の
数字に、1から9が
ぜんぶあるだんを
見つけましょう。

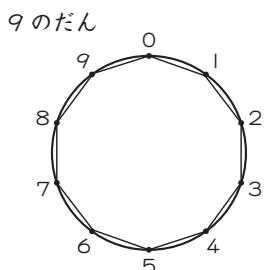
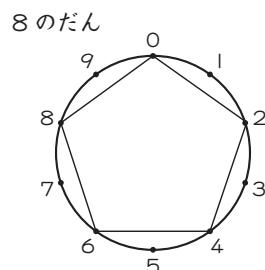
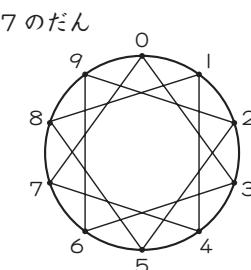
(1) のだん



(3) のだん



(7) のだん



(9) のだん

② 答えの一の位の数字が、0、2、4、6、8になるだんを
見つけましょう。

(2) のだん (4) のだん (6) のだん (8) のだん

③ 答えの一の位の数字が同じだんを見つけましょう。

1のだんと (9) のだん 2のだんと (8) のだん

3のだんと (7) のだん 4のだんと (6) のだん

なまえ

ねらい 九九表を見て、様々なきまりを見つけることができる。乗数と積の関係を理解する。

① 九九の表を見て、いろいろなきまりを見つけましょう。

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

①

かける数と答えのきまり

- ・4のだんでは、
かける数が1ふえると、
答えは **4** ふえる。
- ・6のだんでは、
かける数が1ふえると、
答えは **6** ふえる。

② 3のだんは **1のだん + 2のだん** のきまり

- ・2のだんと3のだんの答えをたすと、 **5** のだんの答えになる。
- ・3のだんと4のだんの答えをたすと、 **7** のだんの答えになる。

③ たすと8のだんの答えになるだんを見つけましょう。

- ・1のだんと (**7**) のだん
- ・2のだんと (**6**) のだん
- ・3のだんと (**5**) のだん
- ・1のだんと2のだんと (**5**) のだん
- ・1のだんと3のだんと (**4**) のだん

なまえ

ねらい 九九表をみて、乗法の交換法則を理解する。

□ () にあてはまることばを、□にはあてはまる数を書きましょう。

① かけ算では、かける数が1ふえると、

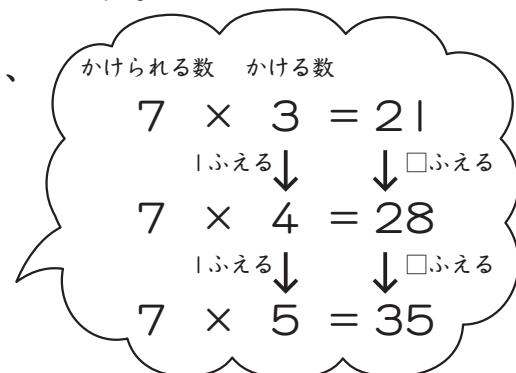
答えは(**かけられる数**)だけ、ふえます。

② 7のだんでは、かける数が1ふえると、

答えは **7** ふえます。

7×5 の答えは、 7×4 の答えより

7 大きくなります。



② () にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① かけ算では、かけられる数と(**かける数**)を入れかえても、

答えは(**同じ**)になります。

② $5 \times 4 =$ **4** \times **5**

$8 \times 7 =$ **7** \times **8**

$7 \times 1 =$ **1** \times **7**

③ 答えが18の九九を書きましょう。

2 \times **9** = **9** \times **2**

3 \times **6** = **6** \times **3**

	かける数								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

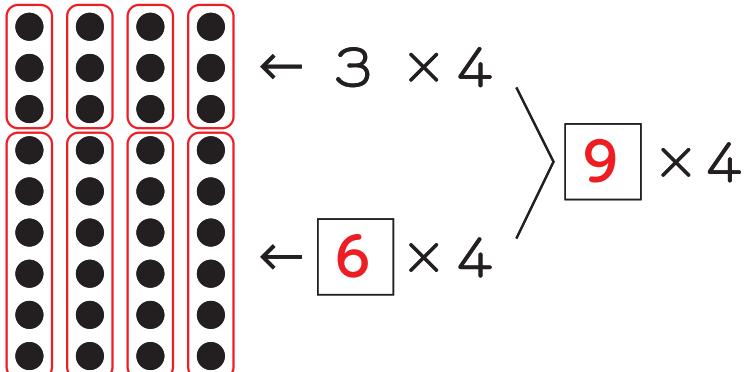
かけられる数

なまえ

ねらい 九九表をみて、乗法の分配法則を理解する。

- ① 右の図をつかって、
 3×4 と 6×4 をたすと
 9×4 になるわけを
 せつ明しましょう。
 また、□にあてはまる
 かずを書きましょう。

(例)



- ② 5のだんは $\boxed{2\text{のだん}} + \boxed{3\text{のだん}}$ のきまりが、ほかのだんでも
 いえるでしょうか。



$2\text{のだん} + 3\text{のだん}$ は…。																							
<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr> <td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td></tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td><td>15</td></tr> <tr> <td>5</td><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	2	2	4	6	8	10	3	3	6	9	12	15	5	5	10	15	20	25
1	2	3	4	5																			
2	2	4	6	8	10																		
3	3	6	9	12	15																		
5	5	10	15	20	25																		

- ① $3\text{のだん} + 5\text{のだん}$ は、
 何のだんになるでしょうか。

1	2	3	4	5	
3	3	6	9	12	15
5	5	10	15	20	25

(8) のだん

- ② $2\text{のだん} + 5\text{のだん}$ は、
 何のだんになるでしょうか。

1	2	3	4	5	
2	2	4	6	8	10
5	5	10	15	20	25

(7) のだん

- ③ $3\text{のだん} + 4\text{のだん}$ は、
 何のだんになるでしょうか。

1	2	3	4	5	
3	3	6	9	12	15
4	4	8	12	16	20

(7) のだん

110

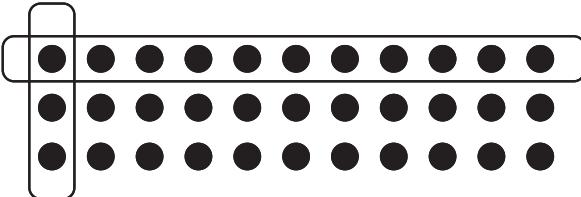
なまえ

ねらい 乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えることができます。

- 1 11×3 の答えを、かずこさんとたかしさんが考えました。
 □にあてはまる数を書きましょう。



11×3 は、 11 が **3** こ分だから、 $11 + 11 + 11 =$ **33**
 だから、 $11 \times 3 =$ **33**



$$\begin{array}{rcl} 3 & \times & 11 \\ & & \swarrow \quad \searrow \\ 11 & \times & 3 \end{array} = \boxed{33}$$

- 2 かけ算のきまりをつかって、つきの計算の答えをもとめましょう。

① $10 \times 10 =$ **100**

② $10 \times 11 =$ **110**

③ $11 \times 12 =$ **132**

④ $12 \times 11 =$ **132**

⑤ $12 \times 12 =$ **144**

	かける数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60	66	72
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63	70	77	84
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99	108
10	10	20	30	40	50	60	70	80	90			
11	11	22	33	44	55	66	77	88	99			
12	12	24	36	48	60	72	84	96	108			

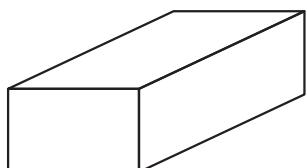
なまえ

なまえ

ねらい 箱の形をしたもののが構成要素（面）について理解する。

□ () にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

Ⓐ

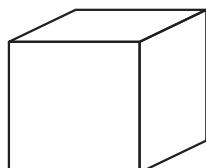


左のはこの形のたいらなところを
(面) といいます。

めん
面の形 (長方形)

面の数 6

Ⓑ

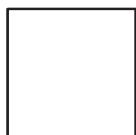


左のはこの形のたいらなところを
(面) といいます。

面の形 (正方形)

面の数 6

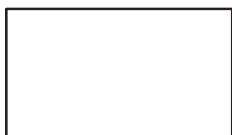
2 上の2つのはこの面をうつしとて、はろうと思った紙が、
ばらばらになってしまいました。Ⓐのはこの面にはⒶ、
Ⓑのはこの面にはⒷと () に書きましょう。



(Ⓐ)



(Ⓑ)



(Ⓐ)



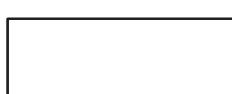
(Ⓑ)



(Ⓐ)



(Ⓑ)



(Ⓐ)



(Ⓑ)



(Ⓐ)



(Ⓑ)



(Ⓐ)



(Ⓑ)

112

なまえ

ねらい 箱の形をしたもののが構成要素（辺、頂点）について理解する。

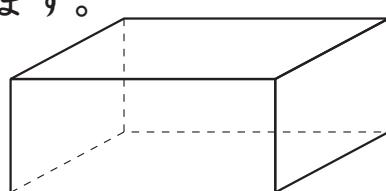
1 はこの形についてしらべましょう。

() にあてはまることばを、□にはあてはまる数を書きましょう。

① 面と面の間の直線を（ 辺 ）といいます。

② 3つの辺があつまつたところを
(ちょう点) といいます。

③ はこの形には、辺が **12** 本、ちょう点が **8** こあります。

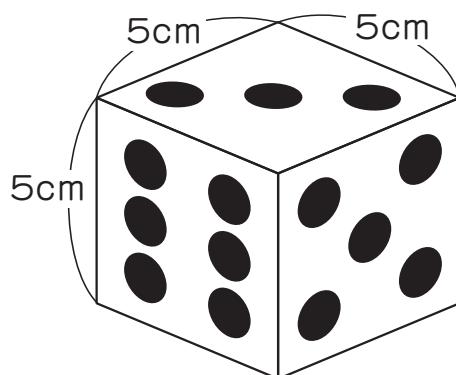


2 右のようなさいころの形には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

また、ちょう点はいくつあるでしょうか。

・ (5) cm の辺が (12) 本

・ ちょう点が (8) こ

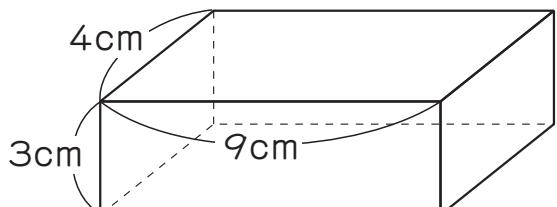


3 右のようなはこの形には、つぎの長さの辺はいくつあるでしょうか。

① 3cmの辺 (4) 本

② 4cmの辺 (4) 本

③ 9cmの辺 (4) 本

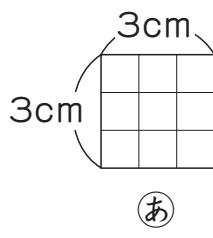


113

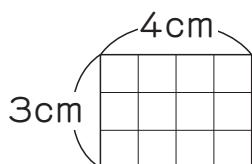
なまえ

ねらい 箱の形をしたものを構成したり分解したりすることができる。(2時間)

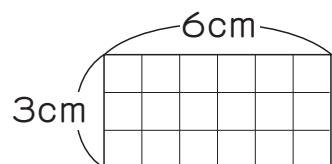
- ① 下のような正方形や長方形をつかって、はこを作ります。
同じ形は何まいつかってもいいです。



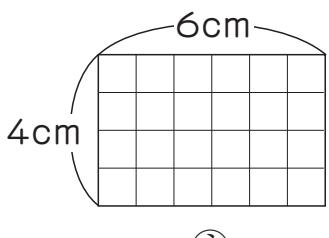
(a)



(i)

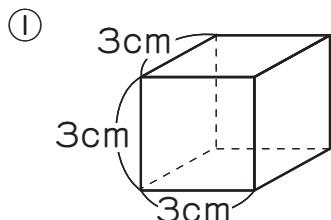


(ii)

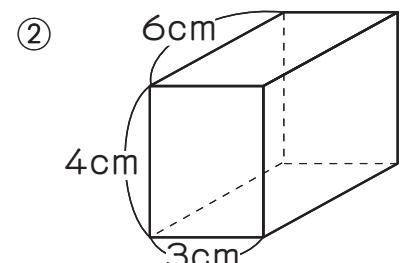


(iii)

はこの形を作るためにつかう形の記号を()に、つかうまい数を□に書きましょう。

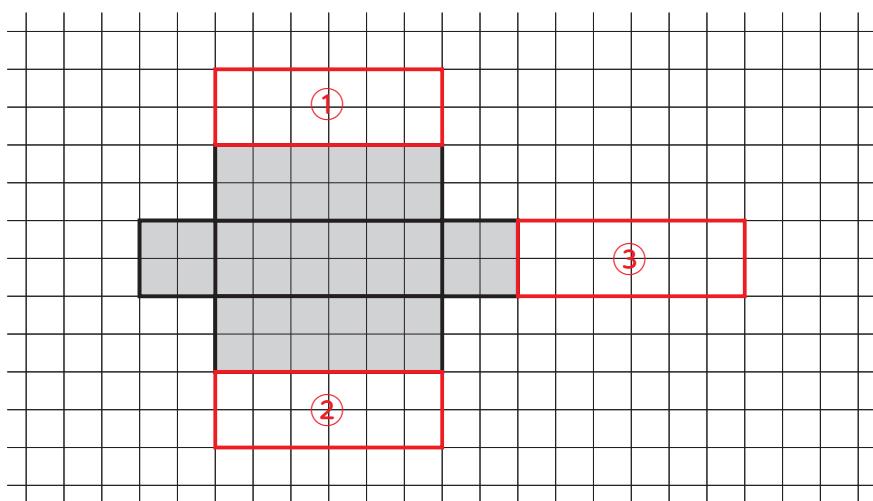


(**あ**) を **6** まい



(**i**) を **2** まい
(**う**) を **2** まい
(**え**) を **2** まい

- ② 下の図に、あと1つ面をつければくわえると、
はこを切りひらいた形になります。
その面の形を1つ、下の図につづけてかきましょう。



①～③の
3通りあります。
どれか1つかいて
あれば正解。

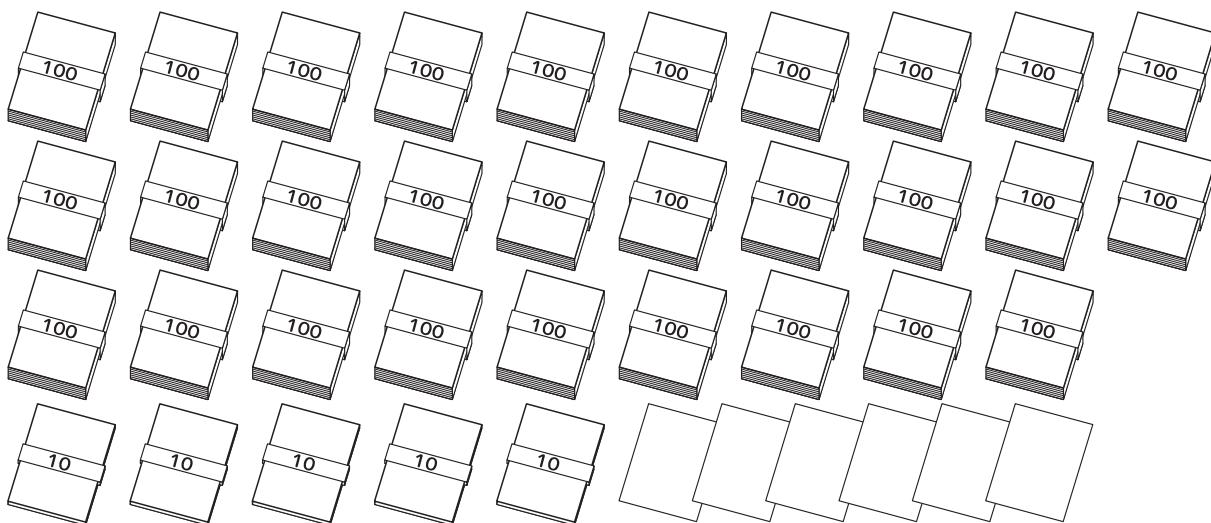
114

15 1000より大きい数 ①

なまえ

ねらい 10000未満の数の読み方、表し方、4位数の構成と位取りの仕組み（千の位）を理解する。

- ① おり紙は何まいあるでしょうか。（ ）にあてはまるこたばを、□にはあてはまる数を書きましょう。



① 100のまとまりが10こあつまつたら **1000** になります。

② 1000を2こあつめた数を（ **二千** ）といい、

2000 と書きます。

③ 二千と九百五十六をあわせた数を

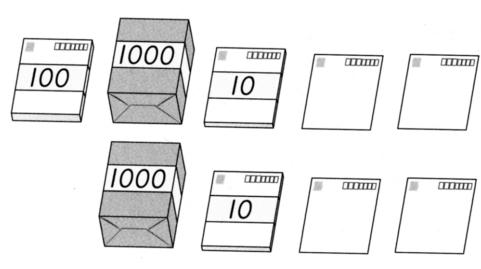
（ **二千九百五十六** ）といい、数字で **2956** と書きます。

② 何まいあるでしょうか。数字で書きましょう。

また、千の位の数字は何でしょうか。

答え（ **2124** ）まい。

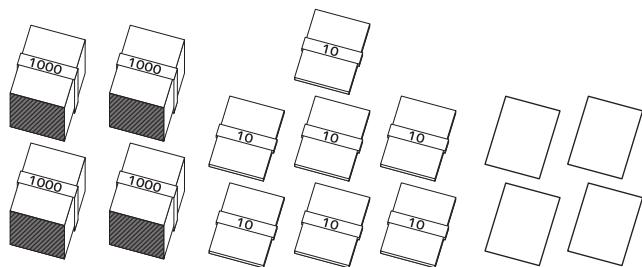
千の位の数字（ **2** ）



なまえ

ねらい 空位のある4位数の読み方、表し方を理解する。

① おり紙は何まいあるでしょうか。



① 位ごとに●を書きましょう。

千の位	百の位	十の位	一の位
● ● ● ●		● ● ● ● ●	● ● ● ●
4	0	7	4

② おり紙の数を、右の□の中に書きましょう。

② つぎの数を書きましょう。

① 1000を8こと、10を2こあわせた数 (8020)

② 1000を7こと、1を6こあわせた数 (7006)

③ つぎの数を数字で書きましょう。

① 五千十六 (5016)

② 三千四十 (3040)

④ □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① 6738 < 6741 ② 3176 > 3099

③ 7717 < 7771 ④ 8808 < 8880

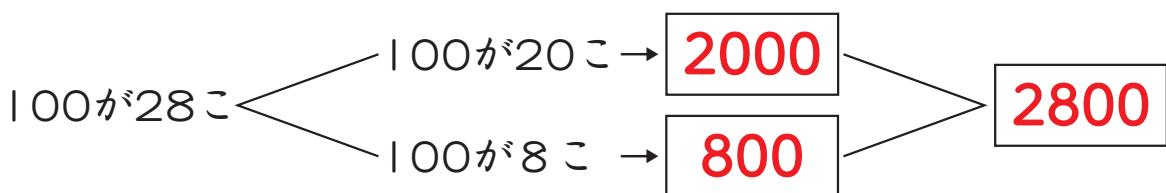
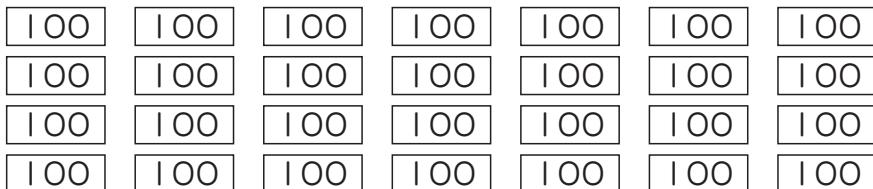
116

15 1000より大きい数 ③

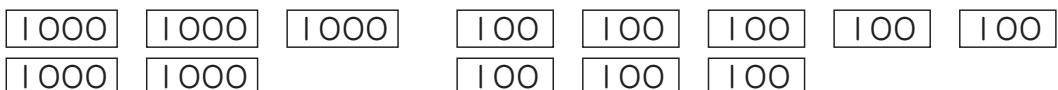
なまえ

ねらい 数の相対的な大きさについて理解する。

1 100を28こあつめた数はいくつでしょうか。



2 5800は100をなんこあつめた数でしょうか。



3 □にあてはまる数を書きましょう。

① 100を53こあつめた数は **5300** です。

② 6300は100を **63** こあつめた数です。

③ 9800は100を **98** こあつめた数です。

117

なまえ

ねらい 10000の読み方、書き方を理解し、10000以下の数の順序について理解する。

- 下の数の線を見て、() にあてはまることばを、□にはあてはまる数を書きましょう。



- ① 1000を10こあつめた数を(一万)といい、

10000と書きます。

- ② 10000より1小さい数は**9999**です。

- ③ 10000は9900より**100**大きい数です。

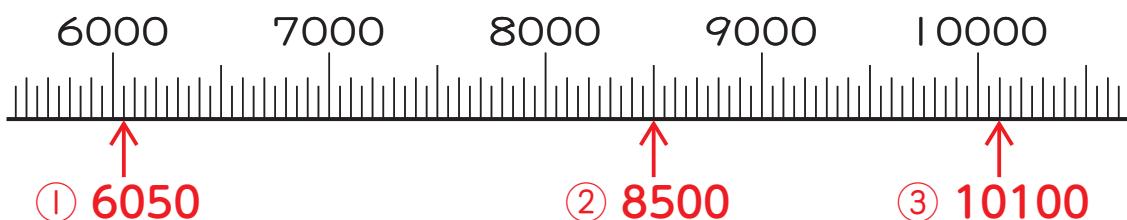
- ② つぎの数を書きましょう。

- ① 10000を7こと、100を4こあわせた数(**70400**)

- ② 7300より50小さい数(**7250**)

- ③ 下の数の線で、つぎの①、②、③の数をあらわすめもりに↑とその数を書きましょう。

- ① 6050 ② 8500 ③ 10100



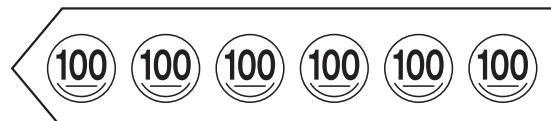
118

15 1000より大きい数 ⑤

なまえ

ねらい 百を単位にしてみられる数の加法の計算の仕方を理解する。

- 1 800+600の計算のしかたを考えましょう。
にあてはまる数を書きましょう。



$$800 + 600 = \boxed{1400}$$

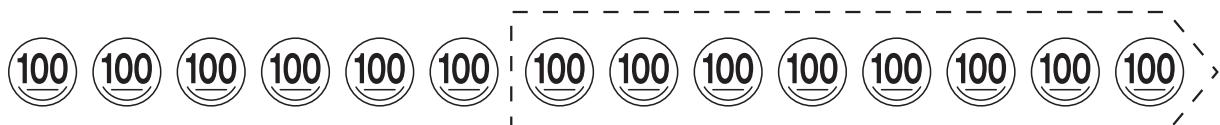
100のまとまりが
 8 こ

100のまとまりが
 6 こ

100のまとまりで考えると
 8 + 6 = **14**
 だから

- 2 1400-800の計算のしかたも考えてみよう。

にあてはまる数を書きましょう。



$$1400 - 800 = \boxed{600}$$

100のまとまりが
 14 こ

100のまとまりが
 8 こ

100のまとまりで考えると
 14 - 8 = **6**
 だから

- 3 計算をしましょう。

① $500+900=$ **1400**

② $700+600=$ **1300**

③ $1500-700=$ **800**

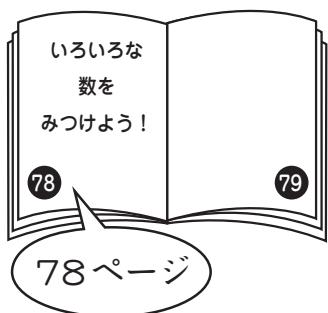
④ $1200-900=$ **300**

なまえ

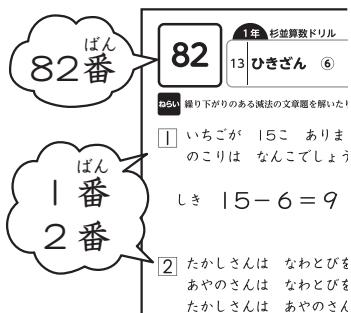
ねらい 数の役割について考え、物事を分類整理した結果を表すのに数を用いる場合があることを理解する。

はるきさんたちが、みのまわりからいろいろな数を見つけました。
どんなやくわりの数か考えてみましょう。

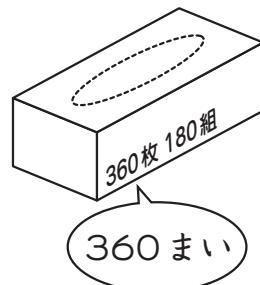
あ 教科書



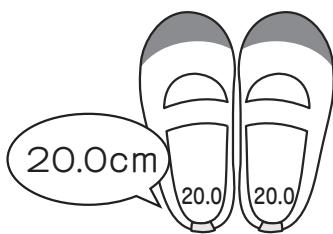
い 算数ドリル



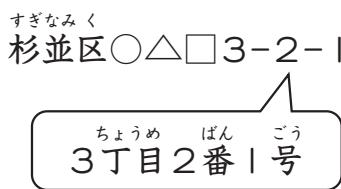
う ティッシュペーパー



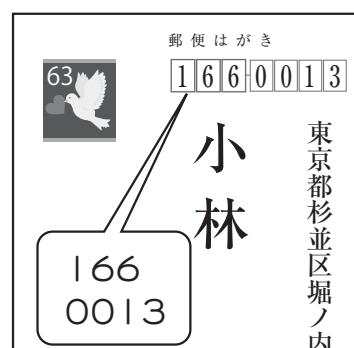
え 上ばきの大きさ



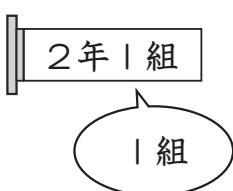
お じゅうしょの番地



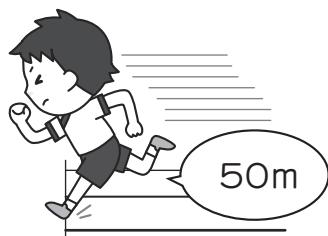
か ゆう便番号



き 学年学級ひょうじ



く 50m走



① 数のやくわりを考えて、() にあ～くを書きましょう。

りょうをあらわしているよ。

(う、え、く)

じゅんばんをあらわしているよ。

(あ、い)

ものごとをせいりしているよ。

(お、か、き)

120

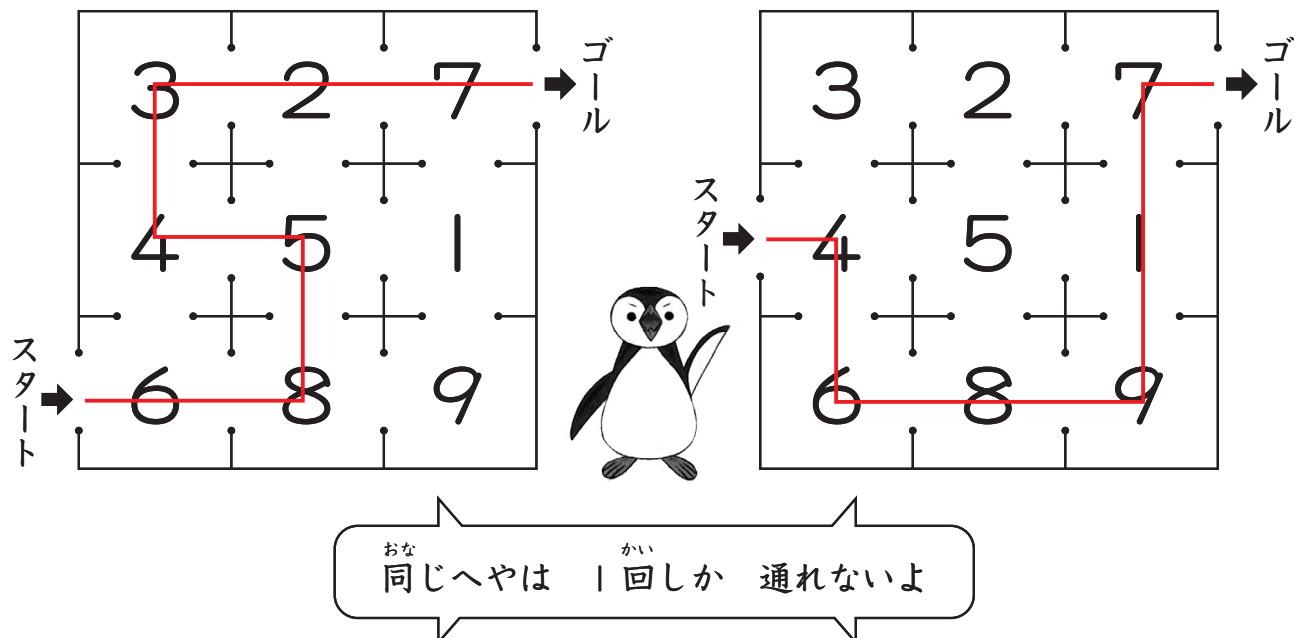
★ 算数ワールド
数のめいろ

なまえ

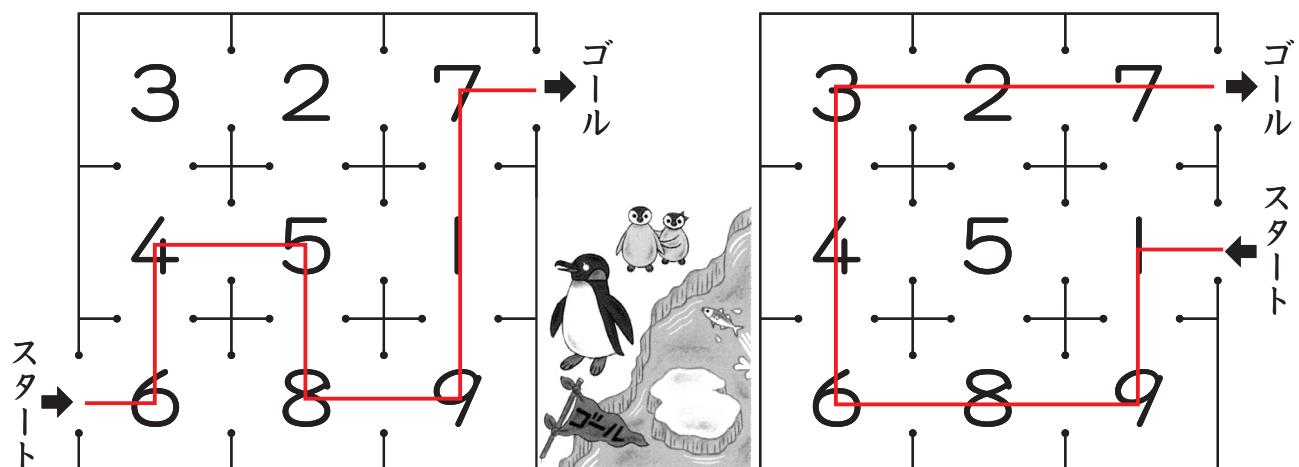
ねらい 決められた和になる数の選び方を、筋道立てて考えることができる。

① 通ったへやに書いてある数を、スタートからゴールまで、たしていきます。

② 答えが35になるようにすすみ、すすみかたを線でつなぎましょう。



③ 答えが40になるようにすすみ、すすみかたを線でつなぎましょう。



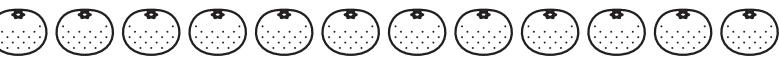
121

16 図を使って考え方 ①

なまえ

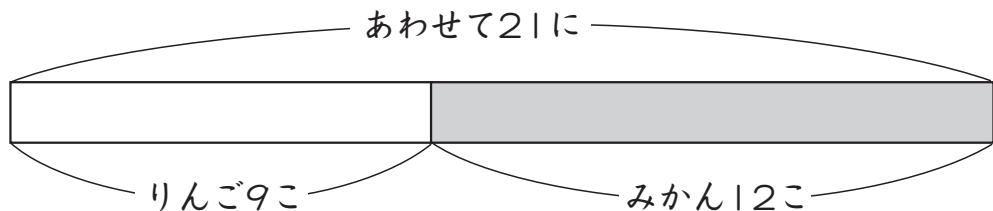
ねらい 加法と減法の相互関係について理解する。

りんご …… 9こ 

みかん …… 12こ 

あわせて …… 21こ

Ⅰ 下の図をつかって、たし算やひき算のもんだいをつくりましょう。



① たし算のもんだいをつくりましょう。

(例)

り	ん	ご	が	9	こ	、	み	か	ん	が	12	こ	あ	り	ま
す	。	あ	わ	せ	て	な	ん	こ	で	し	ょ	う	か	。	

② ひき算のもんだいをつくりましょう。

(例)

り	ん	ご	と	み	か	ん	が	あ	わ	せ	て	21	こ	あ	り
ま	す	。	り	ん	ご	は	9	こ	あ	り	ま	す	。	み	か

りんごとみかんがあわせて21こあります。みかんは12こあります。りんごはなんこあるでしょうか。

122

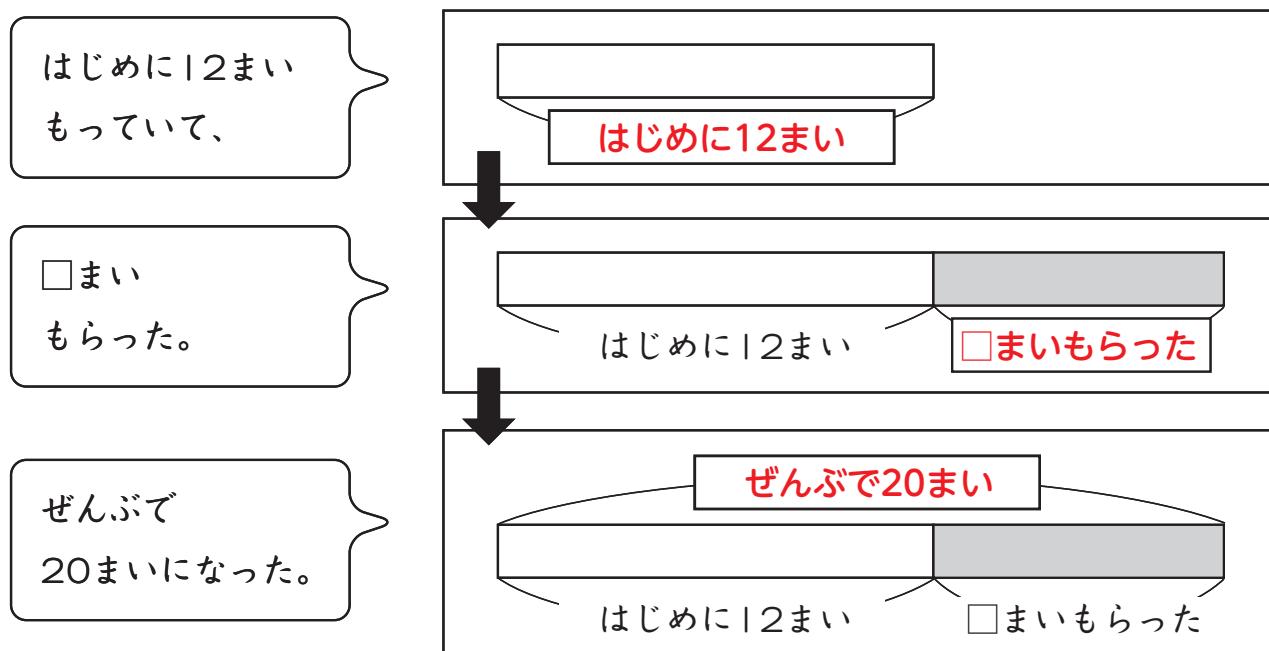
16 図を使って考え方 ②

なまえ

ねらい 加法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。

- ① シールを12まいもっています。何まいかもらったので、シールはぜんぶで20まいになりました。
もらったシールは何まいでしょうか。

① もんだいにあわせて、テープ図にあらわしましょう。



② 式を書いて、答えをもとめましょう。

式 $20 - 12 = 8$ 答え 8まい

- ② バスに13人のっています。とちゅうで何人かのってきたので、ぜんぶで27人になりました。とちゅうでのってきた人は何人でしょうか。

- ① テープ図に
あらわしましょう。
- ② 式を書いて、
答えをもとめましょう。



式 $27 - 13 = 14$ 答え 14人

123

16 図を使って考え方 ③

なまえ

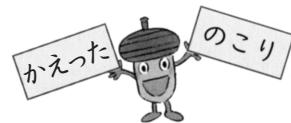
ねらい 減法逆加法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。

① もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

① こうえんで、子どもが何人かあそんでいました。

7人かえったので、のこっている子どもは12人になりました。

はじめにあそんでいた子どもは
何人だったでしょうか。



② 式に書いて、答えをもとめましょう。

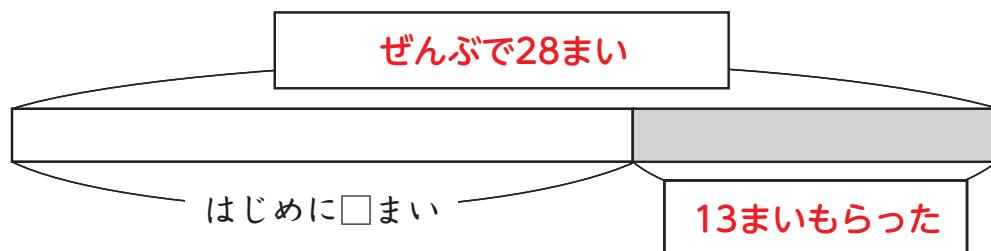
式 $12 + 7 = 19$

答え 19人

② もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

① おり紙が何まいかありました。13まいもらったので、
28まいになりました。

はじめにおり紙は何まいあったでしょうか。



② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式 $28 - 13 = 15$

答え 15まい

124

16 図を使って考え方 ④

なまえ

ねらい 減法逆減法の場面を図や式に表して、答えを求めることができる。

① もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① おこづかいを100円もっていました。いくらかつかったので、のこりが25円になりました。つかったのは
何円でしょうか。



- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式 $100 - 25 = 75$

答え 75 円

② もんだいにあわせて、テープ図にあらわして考えましょう。

- ① ビー玉を32こもっていました。いもうとにどこかあげたので、のこりが18こになりました。あげたビー玉は
どこでしょうか。

テープ図にあらわして考えましょう。



- ② 式に書いて、答えをもとめましょう。

式 $32 - 18 = 14$

答え 14 こ

125

なまえ

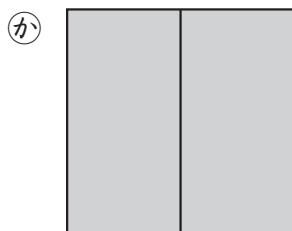
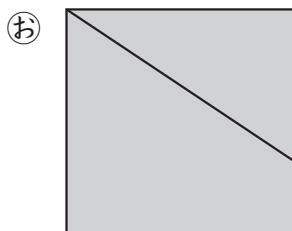
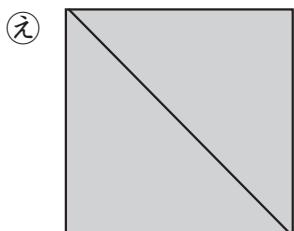
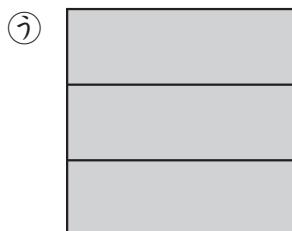
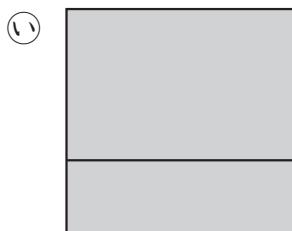
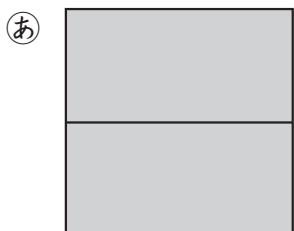
ねらい 1/2の大きさや意味を理解する。

- 1 このプリントをおりまげて、ちょうど半分に分けましょう。
分け方を2とおり書きましょう。

- (例) • プリントを左右に2等分する。
• プリントを上下に2等分する。

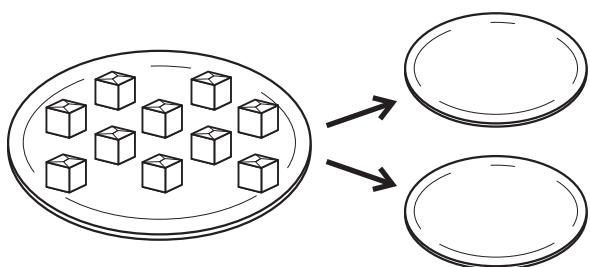


- 2 正方形のおり紙を半分に分けているのは、どれでしょうか。



(Ⓐ、Ⓓ、Ⓕ)

- 3 キャラメルが10こあります。2人で半分に分けると、
何こずつに分けられるでしょうか。



(5こずつ)

なまえ

ねらい 等分の意味や、等分と倍の関係を知り、 $1/2$ の大きさについて理解を深める。

□ () にあてはまる言葉を、□にはあてはまる数を書きましょう。

① 同じ大きさに2つに分けた1つ分を(**二分の一**)といい、

$$\frac{1}{2}$$

と書きます。

② 同じ大きさに分けることを(**等分**)するといいます。

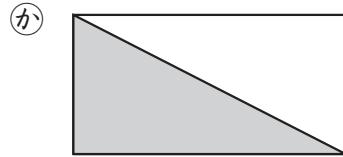
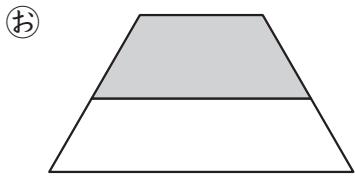
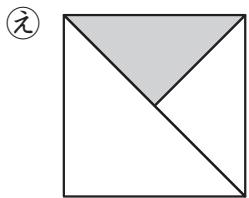
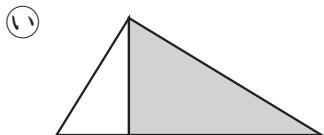
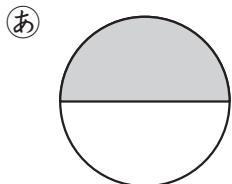
$$\frac{1}{2}$$

③ $\frac{1}{2}$ は、もとの大きさを2等分した1つ分の大きさです。

② $\frac{1}{2}$ に切った長さを何倍すると、もとの長さになるでしょうか。

答え(**2**)倍

③ 色をぬったところが、もとの大きさの $\frac{1}{2}$ になっている図をすべてえらびましょう。



(**Ⓐ、Ⓑ、Ⓕ**)

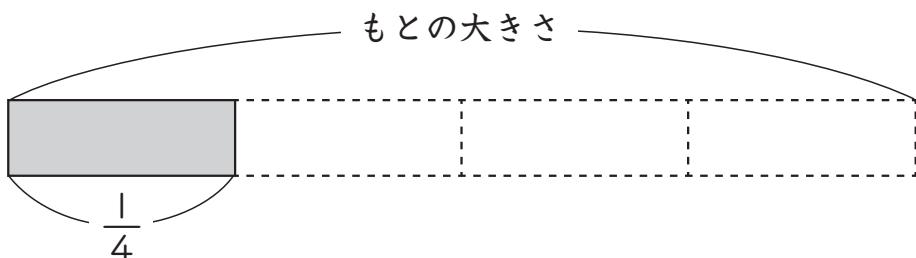
127

なまえ

ねらい 1/4、1/8の大きさや分数の意味を理解する。

□ () にあてはまることばを、□にはあてはまる数を書きましょう。

- ① 4等分した1つ分を、もとの大きさの(**四分の一**)といい、
 $\frac{1}{4}$ と書きます。



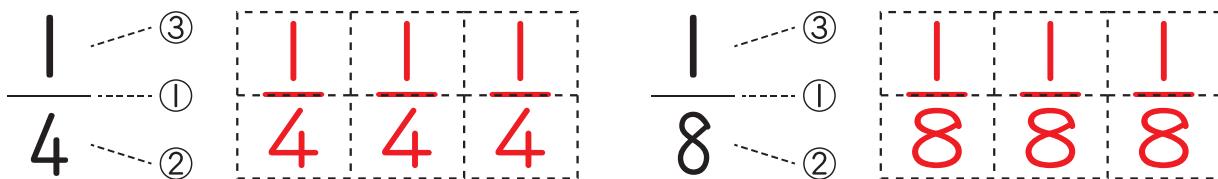
- ② 8等分した1つ分を、もとの大きさの(**八分の一**)といい、

1/8と書きます。

- ③ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ のようにあらわした数を、(**分数**)といいます。

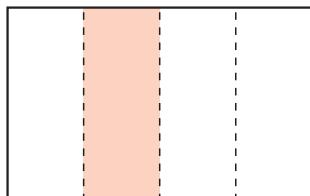
- ④ $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ を書くれん習をしましょう。

(例)

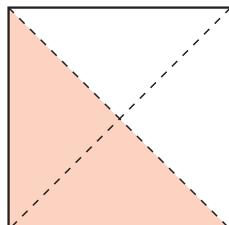


② つぎの大きさになるように色をぬりましょう。

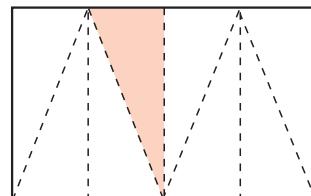
- ① もとの大きさの $\frac{1}{4}$
 (例)



- ② もとの大きさの $\frac{1}{2}$
 (例)



- ③ もとの大きさの $\frac{1}{8}$
 (例)



なまえ

ねらい もとの大きさが違うと $1/2$ の大きさも違うことに気づき、分数の意味について理解を深める。

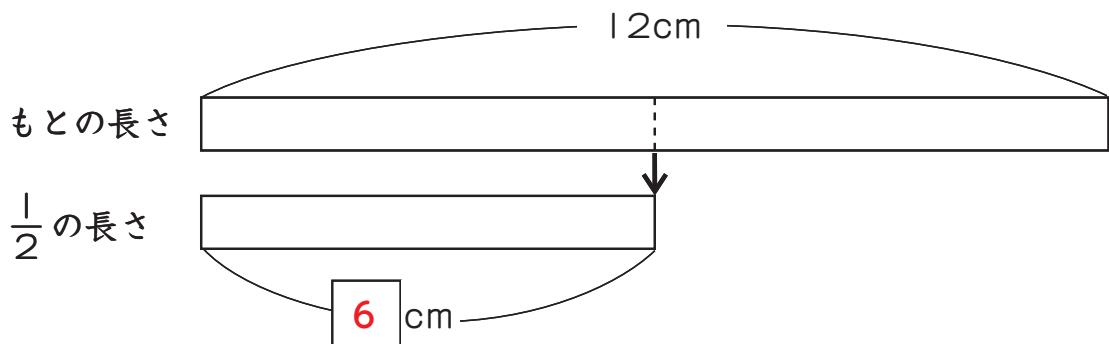
- I まさきさんとさとこさんが、それぞれテープを切って、
もとの長さの $\frac{1}{2}$ にしました。

まさき
さんさとこ
さん

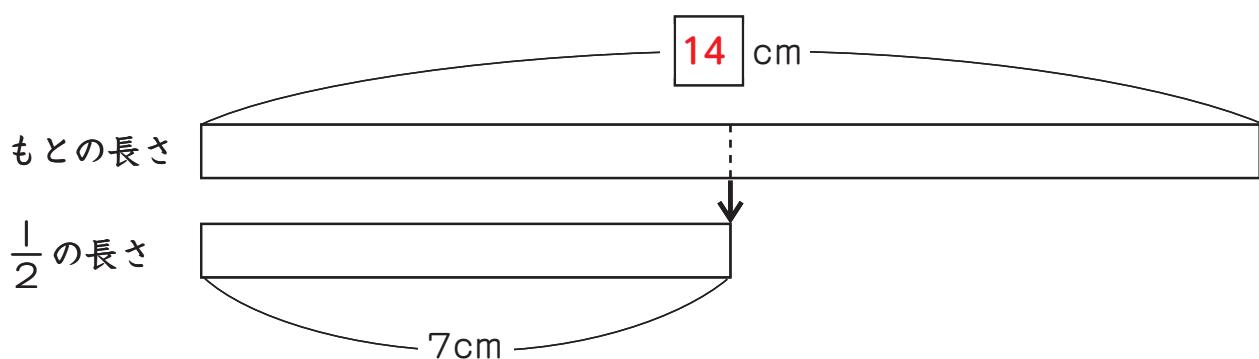
- ① まさきさんのテープは、
もとの長さが12cmでした。

どちらももとの長さの $\frac{1}{2}$
なのに、さとこさんの
ほうが長いね。

このテープの $\frac{1}{2}$ の長さは何cmでしょう。



- ② さとこさんが $\frac{1}{2}$ にしたテープの長さは7cmでした。
このテープのもとの長さは何cmだったでしょうか。



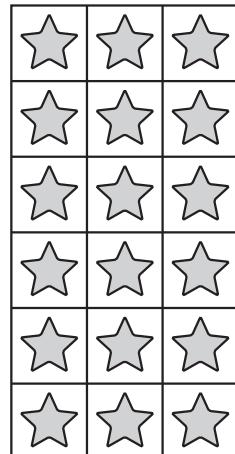
- ③ もとの長さが（ちがう）と、その $\frac{1}{2}$ の長さもちがいます。

129

なまえ

ねらい 1/2、1/3、1/4の大きさを作る活動を通して、乗法、除法についての素地となる見方を養う。

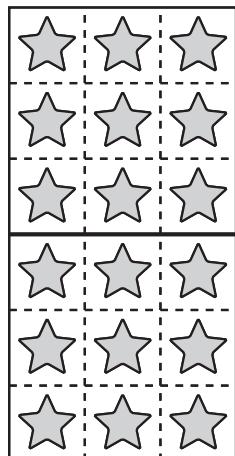
【】 クッキーがはこに入っています。
 1人分が同じになるように分けるには、
 どんな分け方があるでしょうか。
 分ける線をかきましょう。
 また、分けた1つ分を分数で
 あらわしましょう。



クッキーは
18まい

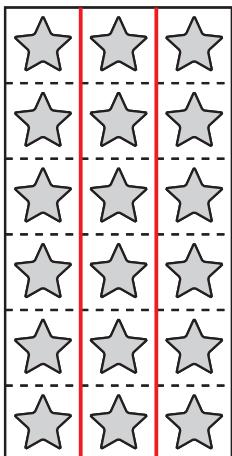
(れい)

2人に分ける



①

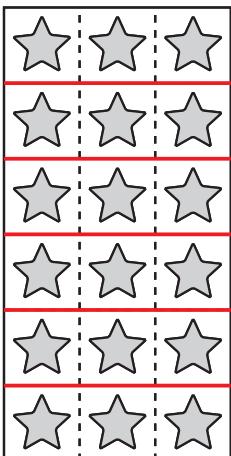
3人に分ける



(例)

②

6人に分ける



(例)

18まいの $\frac{1}{2}$ は

9まい

18まいの $\frac{1}{3}$ は

6まい

18まいの $\frac{1}{6}$ は

3まい

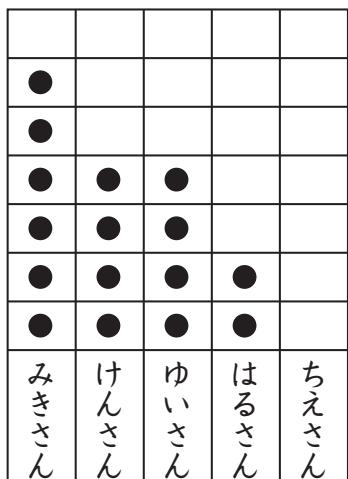
★ 算数をつかって考えよう

なまえ

ねらい グラフの○の数の合計に着目して、九九が適用できるように分割したり移動したりして求める仕方を説明する。

① みきさんは、5人でチームを組んで、さかなつりゲームにちょうせんしています。

4人めのはるさんまでのきろくを、グラフにあらわしました。



② みきさんがつったさかなの数は、
はるさんがつったさかなの数の何倍でしょうか。

(3) 倍

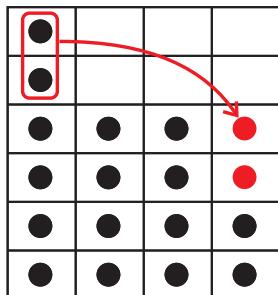
③ みきさんたちは、チーム5人で、
合計20ぴきつることをもくひょうにしています。
ちえさんが何びきつると、チームの合計が
20ぴきになるでしょうか。

$$6 + 4 + 4 + 2 = 16 \quad (4) \text{ ひき}$$

$$20 - 16 = 4$$

④ みきさんが、みきさん、けんさん、ゆいさん、はるさんの4人の合計を、たし算で、 $6 + 4 + 4 + 4 + 2$ ともとめようとしましたが、けんさんが「九九をつかってもとめられるよ」といいました。

けんさんは、どのように考えたのでしょうか。図をつかってせつ明しましょう。また、九九の式も書きましょう。



(例) みきさんの●を2こ、はるさんのところにい動して、4この●が4れつになるようにすると、 4×4 の式でもとめることができる。

九九の式 (4×4)

131

2年 杉並算数ドリル

学習した日 月 日

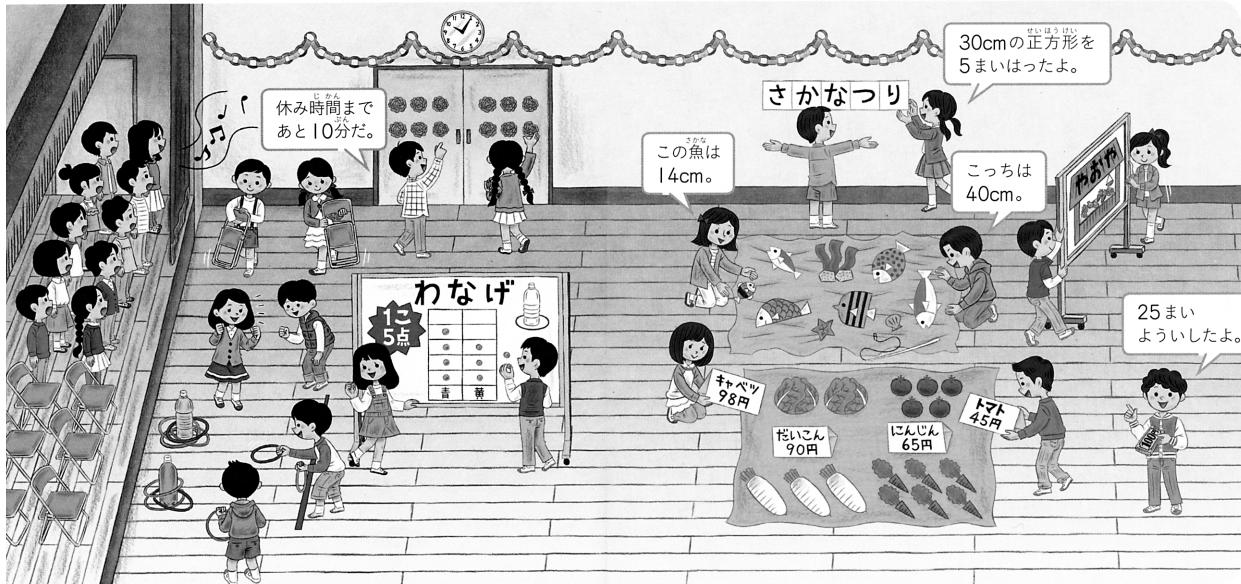
★ 算数ワールド
お楽しみ会で算数

なまえ

ねらい お楽しみ会の場面絵をもとに2学年で学習した内容を理解し、問題を解くことができる。

お楽しみ会で算数

たの かじ
お楽しみ会のじゅんびを
しているよ。



① つぎの①から③の答えをもとめましょう。

- ① 30cmの正方形の紙を5まい横につなげました。
横の長さは何cmでしょうか。

$$30 + 30 + 30 + 30 + 30 = 150$$

答え 150cm

- ② 98円のキャベツと65円のにんじんとでは、
どちらが何円やすいでしょうか。

$$98 - 65 = 33$$

答え にんじんが33円やすい

- ③ 100を15こあつめた数はいくつでしょうか。

答え 1500

★ 2年のまとめ ①

なまえ

ねらい 数と計算についての問題（①～⑥）に取り組む。

① □にあてはまる数を書きましょう。

① 1000を5こと、1を8こあわせた数は **5008** です。

② 10000よりかぎり小さい数は **9999** です。

③ 4085は、**1000**を4こと、**10**を8こと、**1**を5こあわせた数です。

④



② 計算をしましょう。

① $400 + 600 = \textcolor{red}{1000}$

② $1000 - 700 = \textcolor{red}{300}$

③ $784 + 78 = \textcolor{red}{862}$

④ $634 - 57 = \textcolor{red}{577}$

③ □にあてはまる>か<のしるしを書きましょう。

① $382 \quad \textcolor{red}{>} \quad 329$

② $6789 \quad \textcolor{red}{<} \quad 6791$

④ 28円の画用紙を1まいと、67円のえんぴつを1本買います。
100円玉を出すと、おつりは何円でしょうか。

式 $28 + 67 = \textcolor{red}{95}$

$100 - 95 = 5$

答え **5円**

133

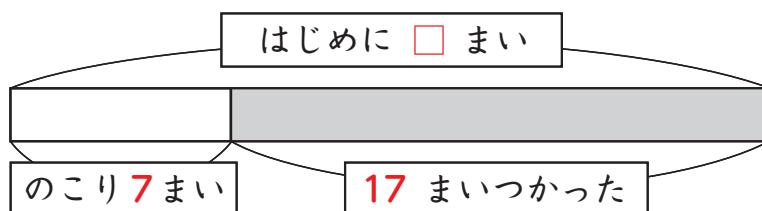
★ 2年のまとめ ②

なまえ

ねらい 数と計算についての問題（⑦～⑪）に取り組む。

- ① はじめにシールを何まいかもっていました。17まいつかったので、のこりが7まいになりました。

はじめにシールは何まいあったでしょうか。
テープ図にあらわして考えましょう。



式 $7 + 17 = 24$

答え **24まい**

- ② 答えが36になる九九を、ぜんぶ書きましょう。

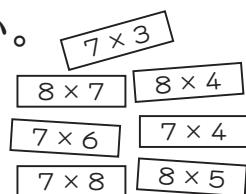
$$(\quad 4 \times 9, 9 \times 4, 6 \times 6 \quad)$$

- ③ 右の九九のカードからえらびましょう。

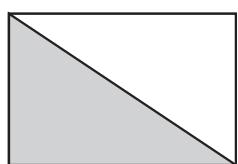
① **7×4** の答えは **7×3** の答えより7大きい。

② **8×4** の答えは **8×5** の答えより8小さい。

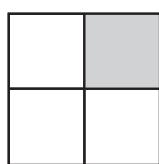
③ **7×8** の答えは **8×7** の答えと同じ。



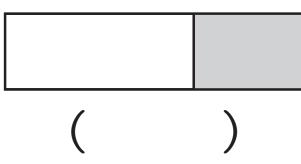
- ④ 色をぬったところの大きさが、もとの大きさの $\frac{1}{4}$ になっている図に○をつけましょう。



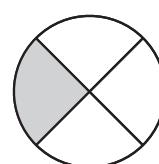
()



(○)



()



(○)

134

★ 2年のまとめ ③

なまえ

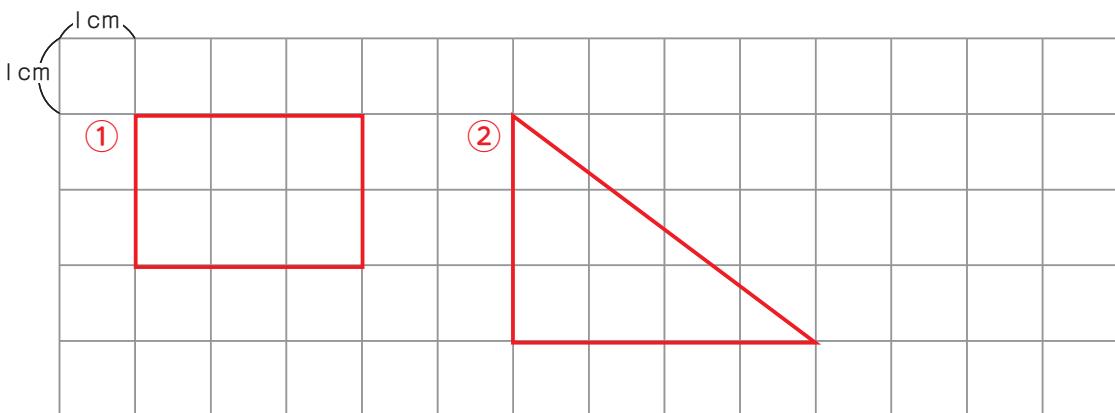
ねらい 図形や測定についての問題に取り組む。

1 つきの形を方かんをつかってかきましょう。

① 2つの辺の長さが2cmと3cmの長方形

② 直角になる2つの辺の長さが3cm、4cmの直角三角形

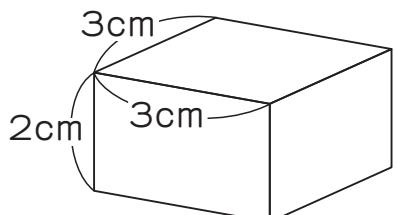
(例)



2 右のようなはこの形について、つきのもんだいにこたえましょう。

① ちょうてん点はいくつあるでしょうか。

(8)



② 長さが2cmの辺はいくつあるでしょうか。

(4)

③ 1つの辺の長さが3cmの正方形の面はいくつあるでしょうか。

(2)

3 □にあてはまる数を書きましょう。

① 1m35cm = 135 cm

② 2L 4dL = 24 dL = 2400 mL

135

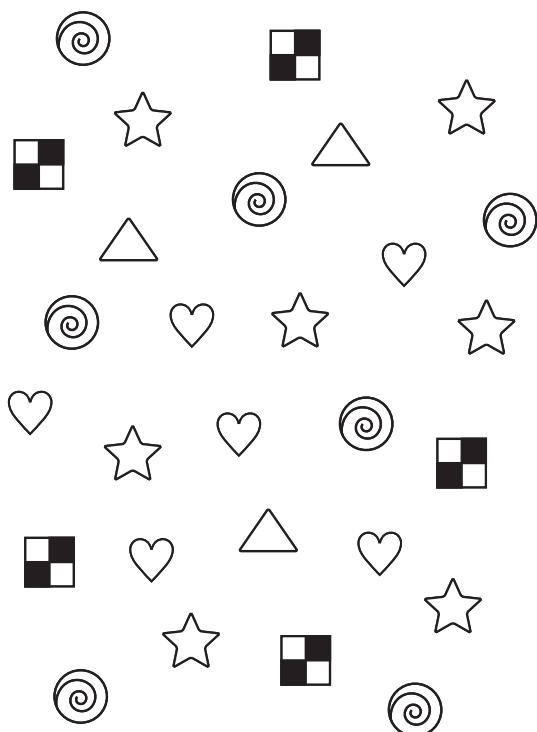
★ 2年のまとめ ④

なまえ

ねらい 測定やデータの活用についての問題に取り組む。

I クッキーの数を、表やグラフにあらわしましょう。

●			●	
●			●	●
●		●	●	●
●		●	●	●
●	●	●	●	●
●	●	●	●	●
●	●	●	●	●
ほしがた	さんかく	チェックマーク	うずまき	ハート
☆	△	■	◎	♡



クッキーの数しらべ

しゅるい	ほしがた☆	さんかく△	チェックマーク■	うずまき◎	ハート♡
数(こ)	7	3	5	7	6

① 数が同じクッキーは、どれとどれでしょうか。

また、その数はどこでしょうか。

(ほしがた) と (うずまき) で (7) こ

② いちばん少ないクッキーは、どれでしょうか。

また、その数はどこでしょうか。

(さんかく) で (3) こ